

様式1（小学校）

令和7年度 くまもとスポ好き共創プロジェクト「1学校1チャレンジ」

ふりがな	ゆのまえちょうりつゆのまえしょうがっこう	ふりがな	くろき ゆきひろ
(市町村立)学校名	湯前町立湯前小学校	校長名	黒木 幸博
電話番号	0966-43-2014	ふりがな	やました そのこ
メールアドレス	0966-43-4144	記入者氏名	山下 苑子

1 学校の実態

○スクールデータ

<令和6年度>					<令和7年度>				
・児童数			151	人	・児童数			135	人
・学級数			9	学級	・学級数			8	学級
・運動やスポーツをすることが好き	6 8	%	9 3	%	・運動やスポーツをすることが好き		%		%
・運動やスポーツをすることがどちらかというとき	2 5	%			・運動やスポーツをすることがどちらかというとき		%		
					・体育の授業が楽しい		%		%
					・体育の授業がどちらかというとき楽しい		%		%

2 本年度の学校における体育・健康に関する指導計画

(1) 重点的に取り組む項目を記入する。

右枠より番号を選択する(複数可)	① 運動やスポーツをすることが好きという児童を育むための取組
	② 体育の授業が楽しいという児童を育むための授業改善
	③ 運動領域と保健領域の一層の関連を図るための取組 (各教科等との関連を含む)
①②④	④ 朝食摂取、睡眠時間の確保、スクリーンタイムの増加への対応など、望ましい生活習慣の定着に向けた取組

(2) 重点的に取り組む項目を設定した理由を自校の児童の現状や課題に触れながら、構想や方針について説明する。

<自校の現状や課題>	
① 令和6年度意識調査結果及び体力テスト結果より (現2～6年)	
本校は小規模校であり、母体数が少ないため平均値が一人の児童の結果に大きく影響される。そのことから、体力に関するテスト結果や意識調査結果の数値(平均)が、必ずしもその集団の状況を表しているとは限らない。従って、割合や個の結果をもとに課題を示す。	
・意識調査に対し、ほとんどの児童が、運動やスポーツをすることに「好き」「やや好き」と答えているが、7人(5年生4人、6年生3人)が「やや嫌い」「嫌い」と答えている。	
・体力テスト結果で、D、E判定の児童が28人(全体22%)と多い。特に、5年生が12人と顕著である。意識調査結果との関連も高い。	
② 令和7年度職員の実態より	
・担任の平均年齢は27歳と若く、全員が教職経験10年未満である。また、校内研修や校外研修(小体研等)で体育の授業研究を実施したり、研究授業を参観したりした経験がない。従って、「児童が『楽しい』という授業」のイメージが持てない職員が多い。	
④ 令和6年度生活アンケート結果より	
・毎日朝食をとる児童は80%でとても少なかった。望ましい生活習慣の定着に向けて、保護者への啓発、児童の意識改善を図り、朝食摂取率を高める必要がある。	
<実践内容>	
① 児童会(体育委員会)を中心とした「運動やスポーツを楽しむ」イベントの実施	5月「手つなぎ鬼ごっこ大会」、6月「ケイドロ大会」など
② 児童が「楽しい」という授業づくりの実施	意識調査結果、体力テスト結果で課題の多くみられた5年生を対象に、「楽しい」授業づくりに取り組み、校内研修として授業を公開する。全職員が「児童が『楽しい』という授業」について研修する機会を設定する。
④ 朝食摂取率アップのための児童及び保護者への啓発活動	栄養教諭と連携し、「朝食」特集の給食だよりを発行するとともに、児童に対しては6月の学級活動時に、保護者に対しては12月の学級懇談会時に「食育講話」を実施し、朝食摂取に対する意識の高揚を図る。